

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	国立大学法人施設整備費 (大型特別機械整備費(最先端等))		<b>担当部局庁</b>	研究振興局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成16年度～		<b>担当課室</b>	学術機関課	学術機関課長 澤川和宏		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上 IV-2 大学などにおける教育研究基盤の整備 IX-1 学術研究の振興			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	国立大学法人法(平成15年法律第112号)第35条において準用する独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		<b>関係する計画、 通知等</b>	第4期科学技術基本計画 (平成23年8月閣議決定)			
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	国立大学法人及び大学共同利用機関法人(90機関)が、施設と一体で整備する先端的・大型の研究設備の整備について、大学等全体を見通したうえで安定的・計画的な設備の整備を図り、我が国の学術研究の水準の向上を目指す。						
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	国立大学法人等において、先端的・独創的な研究に必要な不可欠な研究設備のうち、既存の経費(国立大学法人運営費交付金等)や競争的資金では整備が不可能な大型で最先端の研究設備について、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、国立大学法人等に対し補助金を交付する。 補助率:定額						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	4,185	4,185	3,765	3,765	4,680
		繰越し等	41,244	—	—	—	—
		計	▲ 7,943	10,713	1,296	2,115	—
	執行額	37,486	14,898	5,061	5,880	4,680	
	執行率(%)	37,453	14,873	5,059	—	—	
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、我が国の学術研究の水準の向上を目的として国立大学法人等の施設を整備するものであり、成果について定量的な指標を示すことができない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助事業数		活動実績 (当初見込み)	184事業	38事業	12事業	—
<b>単位当たり コスト</b>	422百万円(平成23年度)		算出根拠	単位当たりコスト=23年度執行額/事業数=5,059百万円/12事業			
<b>平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国立大学法人施設整備費補助金	3,765百万円	4,680百万円	日本再生戦略に関する「重点要求」(人材育成戦略)2,780百万円 大規模学術フロンティア促進事業の実施に伴う増			
	計	3,765百万円	4,680百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業については、既存の経費や競争的資金では整備が不可能な大型で最先端の研究設備について、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、国立大学法人等に対し補助金を交付するものであることから、国が総合的に推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>単位当たりコストについては、各事業の規模、整備内容が異なるため経年比較できないが、公共工事コスト縮減対策に基づき予算単価の縮減に努めている。</p> <p>また、各法人においては、一般競争入札を原則とし、その妥当性や競争性を確保しているところである。</p> <p>なお、計画変更や事業完了報告時において、費目・用途の内容を厳正に審査するなどその必要性について適切に確認を行っている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>当事業は、国立大学法人等が整備する先端的・大型の研究設備の整備について、国が、大学等全体を見通したうえで安定的・計画的な設備の整備を図り、我が国の学術研究の水準の向上を目指すものであるから、他の手段は無く、実効性の高い手段である。</p> <p>当該事業は、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえて、計画的な整備を推進しており、十分に活用されている。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	<p>類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。</p> <p>※類似事業名とその所管部局・府省名</p>	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、国立大学法人等が行う先端的・独創的研究活動に資するために必要な事業であり、国立大学法人等が策定する設備マスタープランを踏まえた上で、今後も重点的・計画的かつ適正な事業実施に努める必要がある。</p> <p>また、引き続き、交付先における契約の競争性、公平性、透明性を確保すべく、国立大学法人等への状況確認を努めていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画を踏まえた上で、国立大学法人等の先端的・独創的な研究に不可欠な研究設備の整備に対し補助金を交付するものである。</p> <p>2. 所見：本事業は、国立大学法人等の先端的・独創的な研究に不可欠な研究施設等の整備に資するものであり、中期目標・中期計画に掲げられた計画に従って着実に実施すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0256	平成23年行政事業レビュー	0243

※平成23年度実績を記入

文部科学省  
5,059百万円

対象となる国立大学法人等から提案のあった事業内容を審査の上、支援対象となる設備を選定し、補助金を交付する。



[公募・補助]

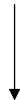
A. 国立大学法人施設整備事業  
5,059百万円  
国立大学法人等  
全6法人

国立大学法人等における先端的・大型の研究設備の整備

(自然科学研究機構)

A. 自然科学研究機構  
(支出額最大の機関)  
1,916百万円

アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計の整備



[一般競争入札]

B. 施設整備事業 1,916百万円  
請負業者等  
全4件

アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計に係る整備等の請負

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

A.自然科学研究機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計の整備	1,916			
計		1,916	計		0
B.三菱電機(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	アンテナ・システム等の製造	1,916			
計		1,916	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	自然科学研究機構	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計(アルマ)の整備	1,916	—	—
2	東京大学	大型低温重力波望遠鏡	1,094	—	—
3	東京大学	先端在宅医療・介護研究総合システム	596	—	—
4	高エネルギー加速器研究機構	KEKB設備の増強	480	—	—
5	東京大学	赤外線大型天体観測装置	342	—	—
6	高エネルギー加速器研究機構	Bファクトリー加速器の高度化	286	—	—
7	広島大学	新型大強度円偏向発生装置	140	—	—
8	東北大学	中性子非弾性散乱装置	136	—	—
9	大阪大学	LEP2ビームライン及び観測装置	31	—	—
10	高エネルギー加速器研究機構	低エミッタンスビーム開発用関連設備	16	—	—

※補助事業

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計(アルマ)用7mアンテナ 11台	1,384	1	99.99
2	三菱電機(株)	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計(アルマ)用7mアンテナ用熱外乱抑制システム 一式	263	1	99.99
3	三菱電機(株)	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計(アルマ)7mアンテナ用風外乱補正システム 12式	204	1	99.90
4	三菱電機(株)	信号遅延校正等システム 12式	65	1	99.61